



Qちゃんの、つぼくら先生！ 放射線のこと教えてコーナー



放射線による体への影響

Qちゃん 東京の友だちをぼくの家に呼ぼうとしたんだけど、「福島県に行くと鼻血がでたり、病気になったり、健康に良くないことが起こりそうだから行きたくない」って友だちに言われたんだ。先生、そんなことないよね？

つぼくら先生 まだそんなこと言う人いるのかい？それは困ったねえ。Qちゃん、その友だちに正しい説明をして誤解を解こう。

確かに、多量の放射線を浴びた場合、鼻血やアザみたいに、血が止まりづらくなることはあるんだ。それは放射線を浴びることで血液が作れず、血小板という血を止める糊が無くなるような場合におこることなんだ。でもこれは多量の放射線を浴びないと「絶対」におこらない。「病院で頭のCT（5～30ミリシーベルト程度）を撮影したら鼻血が出た」なんてこと無いでしょ？量で言うと、今の相馬市で生活する上で自然から受ける放射線量の100年分よりも多い量（約200ミリシーベルト）を、一瞬で浴びるようなことが無ければ「絶対」におこらないよ。

次に、がんと放射線の関係だけど、受けた放射線量が増えることに従って、がんになる「可能性」が高くなると言われている。確かに、相馬市で自然から受ける放射線量の50年分（約100ミリシーベルト）以上を一瞬で浴びるようなことがあれば、がんになる「可能性」が少し高くなるかも。どれだけ少ない量でも放射線を浴びる回数が増えればその分病気になると言う人がいるけど、これは間違い。飛行機に1回乗ったことがある人と、2回乗った人で、2回の人には2倍病気になるとか言わないでしょ？不必要に放射線をたくさん浴びることは無いけれど、今回の事故で増えた放射線は、病気が増えるとか議論するレベルではないよ。

今回Qちゃんが分かったこと

▽相馬市の放射線量が影響して、鼻血が出たり、がんになる可能性が高くなることはないということ。

●問い合わせ先 放射能対策室 ☎ 37-2270

食品の放射性物質検査

市は、家庭で栽培された野菜や、農林水産物などの食品を安心して自家消費できるよう判断の参考にさせていただくため、下記施設で放射性物質濃度を測定しています。
※あらかじめ電話予約をお願いします。

※土日祝日を除く

●予約時間 9時～17時

測定施設名	電話番号
市役所 農林水産課	37-2147
玉野出張所	34-2001
大野公民館	35-2326
飯豊公民館	35-2409
八幡公民館	35-2408
日立木公民館	35-2901
山上公民館	32-5009
磯部コミュニティセンター	33-5561
大野台仮設サポートセンター	26-8910
図書館	37-2630
相馬愛育園	36-5591

●問い合わせ先 放射能対策室 (☎ 37-2270)

自家消費野菜などの放射性物質測定結果

- 10月分 ▼測定件数 38件
(内訳：野菜 14件、果実 24件)
- ▽基準値を超えた食品 0件
- 相馬市で出荷制限などを受けている食品(11月2日現在)
- ▽くさそてつ(ごごみ) ▼たけのこ ▼ふきのとう(野生)
- ▽ぜんまい ▼たらちの芽(野生)
- ▽原木しいたけ(露地) ▼原木なめこ(露地) ▼野生きのこ ▼こしあぶら ▼うど(野生)
- ▽牛(県の定める出荷・検査方針に基づくものを除く)

※最新の情報は、福島復興ステーションホームページ内の「農林水産物の緊急時環境放射線モニタリング結果【詳細】」で確認ください。
https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/non-kekahmi
◎これまでの食品の検査結果(相馬市ホームページ)
http://www.city.soma.fukushima.jp/housyasen/index.html